

岩屋中だより

令和7年8月29日 NO14

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

2学期を迎えるにあたって⇒自分を大切にすること ★プラス思考＝『笑顔＋（プラス）』＝『幸せ＋（プラス）』★

2学期を迎えるにあたって

長い夏休みがまもなく終わります。皆さんにとって、どのような夏休みだったでしょうか。

今年の夏は、梅雨明けが例年よりも早くて、早く始まった夏でした。全国各地で、猛暑日を記録し、昨年以上に大変暑い夏でした。その暑さはお盆が過ぎた今でも、続いています。毎日のニュースの中で、『危険な暑さ』という言葉も普通に聞こえるそんな夏だったと思います。そのような暑さの中で厳禁に過ごせたでしょうか。

さて、生徒の皆さんは、この夏休みをどのように過ごしたでしょうか？「頑張った」自己評価できる人もいれば、「頑張れなかった・・・」と少し自己評価で反省をする人もいます。前者であっても、後者であっても、長い夏休みが終わって、通常の生活に戻ることは明かです。そのは、どれにとっても、大変、憂鬱（ゆううつ）なものです。「あーあーまた始まるな」と重苦しい気持ちになるのは、大人も子どもいっしょです。

夏休みを迎えるにあたって、次のスライドを終業式の日を示したと思います。覚えているでしょうか？

竹の節の話と関連して、終業式を節目にして、再チャレンジを図ると時だという内容を触れていたと思います。

今日は、終業式ですが、成績は2期制なので、今日は通知表はもらいません。しかし、節目だからこそ、しっかり自分を振り返って、前期の通知表が渡される10月初旬に備えてほしい。……9月の終わりも節目です。

今日から、前期の終わりに向けて、再スタートです。まだまだ今から追い込める！夏休みは勝負所！

この夏休みは、自分を大切にしてほしい

『あたり前』は決してあたり前ではない＝有難し＝『ありがとう』を家庭でも実践してほしい。

安全第一（海、山、川、人が集うところ、SNS・・・）

夏休みの勝負所、がんばれ！

家族の一員として、家の手伝いをがんばれ！

また、上記のようなスライドでも話をしたと思います。自宅で、今あることに感謝し、ありがとうの言葉が言えたでしょうか？一番大切なのは、2つめに示した「安全」に係ることでした。事故等に気をつけて、心配をかけることなく、安全に過ごせたでしょうか？

さて、1学期と2学期の間のインターバル。これが夏休み。それは、新しい自分に変える（Change）、新しい自分の変わる好機（Chance）、変わるために挑戦する（Challenge）でもありますし、2学期こそ、この3つを達成せねばなりません。

一番大切なことは、「新学期に、明るく、元気な笑顔を見せる」と言いました。2学期が始まることで、重苦しい気持ちになったり、嫌だなど思うのは当然です。課題が・・・とか、終わったテストが返却されるとか・・・授業がとか・・・いろいろ考えることでしょう。しかし、始まってしまうのですから、気持ちの切り替えをする方が得策です。「いろいろ言っても仕方ない。頑張るしかない」と前向きに考え、夏休みに達成できなかったことに挑戦する2学期であれば、夏休みの反省は次に生かされるわけです。

頑張れる自分、反省する自分、反省できない自分、反省を生かす自分、いろいろありますが、どれも、それは、あなたです。人生を自分なりに変えていこうとする気持ちは、だれにでもあって、それを実現する良い方法が、『プラス思考』です。『笑顔』です。ネガティブな『できない理由』であったり、『悪口』であったりが自分を支配してしまうと、不思議なことにそちらに力が向いてしまいます。前向きな思考、そして、できなかったならばなぜできなかったかを振り返るための『自分を見つめるベクトル（力の向き）』を大切にしたいものです